

## 学力向上を目指して がんばった先輩の勉強法に学ぼう！

大切にしたいこと

あいさつ・掃除・思いやり

3年生にとっては、中学校最後の試験が近づいてきました。1・2年生は、2学期のまとめを、3年生は3年間のまとめをしっかりとできるように、今日は、偉大な先輩の勉強法を紹介します。

皆さんは、大平光代さんを知っていますか。

いじめにより中学校時代に自殺未遂、その後の自暴自棄になった人生から這い上がり、自力で弁護士になるための司法試験に合格。弁護士として働いた後、大阪の助役もされました。その半生を書いた「だから、あなたも生きぬいて」の著書は、260万部を超えるミリオンセラーになりました。

彼女の半生を少し、紹介します。



両親が共働きだったので、学校から帰ると母方の祖母の家で過ごす。中学1年の7月に転校した事がきっかけになり、いじめに遭う。親友だと思っていた同級生達からいじめられ、そのショックから割腹自殺を図るが発見が早かった事もあり未遂に終わり救命される。その後もいじめはエスカレートし、居場所を無くし14歳の時、暴走族に入る。この頃美容専門学校を受験し合格したが中退<sup>1</sup>。しばらくして暴力団の世界に入る。16歳の時、組の人間に認めてもらいたいという思いから、彫り師に頼み“観音様に蛇”の刺青を入れる。その年に組長と結婚し、その後離婚。21歳の時に組を離れて、大阪北新地で働き始める。

しばらくして、父親の友人である大平浩三郎と再会する。浩三郎はのちに光代の養父となる。浩三郎の強い勧めで立ち直る決意をし、猛勉強を開始。22歳の秋、宅建試験に合格する。その後、司法書士試験に合格。近畿大学法学部通信教育課程に入学。同大学3年の29歳のとき最難関の司法試験に1年間の猛勉強の末一度で合格。弁護士として青少年問題を担当して非行少年の更生に努めるが、人の痛みが分からない子どもがたくさんいる現実直面する。弁護活動を通じて出会い、メールで交流を続ける子どもは74人になる。

興味のある人は、本を読んでみてください。図書室にありますよ。

その大平光代さんから皆さんへ、「効果的な学習方法」を伝えます。

彼女は、次の方法で集中力を高め、計画を達成していると述べています。

## 集中力を高める方法

1. あれもこれも一度にしようと思わない。
2. したいと思うことを全部紙に書き出す。
3. 書き出したものに優先順位をつける。
4. いちばんしたいことが決まったら、それをするためにはどうすればよいのかを考え、紙に書き出す。
5. それをするのに必要なものだけをそろえる。
6. 必要なもの以外、目にはいるところには置かない。
7. すべてにおいて無理な計画は立てない。

## 暗記のために必要最低限のこと

暗記のために必要最低限のことは次の2つだと述べています。

1. 繰り返す。
- 2 関連づけて覚える。

## 効率良く勉強する一番のコツ

効率良く勉強する一番のコツについて、「遠回りのように見えても、基礎をきっちり学ぶほうが知識が定着し、応用もきくので効率がいい」、「何と云っても最初に基礎をきちんと身につけることです」と述べています。

最後に、大平光代さんからみなさんへ。・・・「耐えられない試練は与えられない、と言います。大事なのは心の持ち方。目の前の壁を「越えられる」と思うことから始めてみる。すると、ひょんなところから、アイデアが浮かんできたりします。どんな状況でも、前向きに考えるようにすれば、必ず良い結果になる」と述べています。

### ◆授業紹介◆



めあてのはっきりした、活動的な授業  
友達と、考えを伝え合い、学び合いましょう。



英語も国語も、スピーチ活動を取り入れています。人前で自分の意見を話す練習をしましょう。